

# 市長に問い

—代表質疑から—

2日間にわたり、令和2年度決算関係議案などについて各会派を代表して5人の議員が質疑を行いました。その一部をご紹介します(詳しくは市議会ホームページの「議会中継(録画放映)」をご覧ください)。

## 自由民主党千葉市議会議員団

米持 克彦 議会中継(録画放映)

### 新型コロナウイルスに感染し、自宅療養を余儀なくされている方への支援内容は

**問** 自宅療養者は外出が禁止され、食料の調達等が困難なうえ、療養中に病状が悪化する恐れもあり、常に不安と隣り合わせである。自宅療養者に対し、どのような支援を行ってきたのか。

**答** 電話やLINE等による健康観察を毎日行うとともに、パルスオキシメーター<sup>\*1</sup>の活用により健康状態の客観的な把握を行っている。また、自宅療養者専用の電話相談窓口を設けるほか、希望者に対し食材セットの提供を行っている。

### 県市連携推進会議の開催趣旨と第1回会議の議題は

**問** 7月に千葉県知事と千葉市長のトップ同士による県市連携推進会議が初めて開催されたが、その趣旨と今回の議題について伺う。

**答** 県市間で特に調整が必要なことを協議し、解決の方向性を示すことで、質の高い行政サービスを効率よく提供するとともに、本市の発展や県全体の活力向上に取り組む。第1回会議では、優先課題と捉えていた「消防防災ヘリコプターの共同運航等」と「水道事業」を議題とした。



## 未来立憲民主ちば

亀井 琢磨 議会中継(録画放映)

### 通学中の児童が死傷した八街市の交通事故を踏まえた今後の通学路の安全対策は

**問** 本事故は、通学路の安全対策が不十分なためとの指摘もあるが、今後の取り組みを伺う。

**答** 学校から改善要望があった危険箇所に対して、即効性のある対策を早期に実施するほか、学校、道路管理者、交通管理者が密に連携し、通学路の安全確保に取り組むとともに、対応状況を学校を通じて保護者や地域の皆様へ情報提供する。また、「千葉市通学路のカラー化計画」を前倒しし、令和4年度の完了をめどに進めていく。

### 新型コロナウイルス感染症と診断され、自宅で療養する方への支援内容は

**問** 自宅療養者は容体急変の可能性がある、手厚い支援が肝要だが、その支援内容を伺う。

**答** 現在、市医師会や薬剤師会と協力して、電話診療やオンライン診療、処方薬剤の配達など医療的支援の体制強化を進めている。また、9月に酸素ステーションを設置し、自宅療養の継続が困難と思われる方を一時的に受け入れて酸素投与を行い、その後の入院調整等につなげる仕組みの構築を図ったところである。



## 決算審査特別委員会

令和2年度決算関係議案を審査するため、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置しました。分科会審査、意見表明を行い、採決の結果、各会計決算を原案どおり認定し、指摘要望事項を市長に提出しました。

委員長 岩井 雅夫 副委員長 盛田 眞弓

### 分科会

専門的な見地からの詳細な質疑応答!

内容が多岐にわたる決算関係議案をより詳しく審査するため、分野別に5つの分科会に分かれ質疑を行いました。その一部をご紹介します。なお、各分科会の所管事項は1面の常任委員会と同じです。

### 総務分科会

コロナ禍における災害時の避難体制整備について

**問** 避難所の過密防止対策やプライバシー確保に向けた取り組みを伺う。

**答** 分散避難として、学校では体育館より教室を優先的に使うほか車中泊避難者の受け入れ場所を確保することや、自治会集会所を地域の避難施設として認定すること等を進めている。また、家族単位での防災用テントを整備するなどプライバシー確保を含め避難環境の向上に努めている。

### 保健消防分科会

コロナ禍での心のケア相談件数の推移への見解は

**問** コロナ禍で社会的孤立が深刻化しているが、昨年5月に開始した休日夜間の電話・LINE相談の件数をどう受け止めているか。

**答** 開始当初と比べて相談件数が増えてきており、コロナ禍の影響で精神的な問題や悩みを抱えている方が多くいると感じている。不安やストレスの軽減等のため、より多くの方に利用していただけるよう、事業のさらなる周知に努める。

### 環境経済分科会

成年年齢引き下げに伴う消費者教育の取り組みは

**問** 来年4月から成年年齢が18歳になり、親の同意なしにクレジットカード等の契約ができるようになるが、消費者被害防止対策は。

**答** 消費生活センターでは、毎年2校の市立学校で消費者教育を行うとともに、淑徳大学と連携し、消費生活に関するワークショップを開催している。また、県の生活協同組合連合会と連携し、新成人向けのオンライン講座を開催した。

### 教育未来分科会

スクール・サポート・スタッフ配置事業の評価は

**問** 配置による効果と学校現場の評価及び今後の事業の見直しについて伺う。

**答** 昨年度は162校に176人を配置し、教材や配布文書の印刷仕上げ、コロナ対策としての校内の消毒や清掃等、様々な業務のサポートを行った。教職員の負担軽減効果が高く、学校現場からは継続配置の要望を強く受けているが、事業の主要な財源である国費の扱いは不透明である。

### 都市建設分科会

管理不全の空き家解消に向けた取り組み状況は

**問** 管理不全の空き家は周辺地域に迷惑をかけるため、所有者に改善を行うよう働きかけるべきであるが、取り組み状況を伺う。

**答** 指導や催告等を行っているが、改善されない事例もある。代執行の手続きに入ったところ、改善された事例もあることから、緊急性の高いものに対しては、法に基づく命令等の実施にも積極的に取り組んでいく。

### 意見表明

予算の使い方について会派の見解を表明!

決算審査特別委員会の採決の前に、会派を代表して5人の議員がそれぞれ令和2年度決算関係議案に認定・不認定の立場から意見表明を行いました。その概要をご紹介します。

認定	公明党千葉市議会議員団、市民ネットワーク、未来立憲民主ちば、自由民主党千葉市議会議員団
不認定	日本共産党千葉市議会議員団

### 認定 公明党千葉市議会議員団

ポストコロナの成長戦略を見据えた取り組みを

一般会計は2年連続で50億円超の実質収支が確保され、主要債務総額の削減は目標を上回るなど、着実に財政健全化が図られています。多額の基金借入残高の早期の返済完了に向け、機動的かつ柔軟な対応に努めるよう求めます。今後も財政健全化への取り組みとともに、市民福祉の維持向上、活力ある千葉市を目指し、ポストコロナの成長戦略を見据えた一層の取り組みを求めます。

### 不認定 日本共産党千葉市議会議員団

暮らしと福祉、コロナ対策を最優先に

国政に追随し、オスプレイ問題など市民の命を脅かす問題に反対せず、市政では、子育て支援に逆行し、子ども医療費の負担を増やすなど、市民の命と暮らしを削る決算です。大型開発を優先し、公共料金の引き上げや心身障害者手当のカットなど、市民生活や福祉の切り下げを強いており、認定できません。不急の開発は見直し、暮らしと福祉、コロナ対策を最優先で行うべきです。

### 認定 市民ネットワーク

市民に寄り添った新たな事業展開の着実な推進を

市民の暮らしや健康を支える緊急事業に加え、子育てや教育に関する新規・拡充事業を積極的に展開し、感染症対策をしながらの歳入確保と歳出抑制が図られました。適切な財政運営が行われたと評価しますが、公債費の占める割合の高さが課題です。新型コロナウイルス感染症の影響を的確に把握し、市民に寄り添った新たな事業展開を、きめ細やかに着実に推進することを求めます。

### 認定 未来立憲民主ちば

本市の資源を生かした魅力あるまちづくりを

一般会計決算では、57億円の黒字を確保し、実質公債費比率及び将来負担率ともに低下したほか、全会計の市債残高は10年連続で削減され、財政健全化が進められたこと、また、我が会派が求めている施策が着実に図られたことを評価します。感染症対策や将来負担とのバランスに配慮しつつ、未来に向けた投資を的確に行い、本市の資源を生かした魅力あるまちづくりを求めます。

### 認定 自由民主党千葉市議会議員団

財政健全化の継続と市民の要望に沿う予算編成を

一般会計決算は、実質収支が57億円の黒字となり、財政健全化の取り組みの成果として一定の評価をしますが、新型コロナウイルス感染症による税収への影響が懸念されることや、基金からの借入残高が多額であるなど、財政状況はいまだ厳しく、今後も取り組みの確実な推進が必要です。新年度の予算編成では、市民の切実な要望や我が会派の指摘をしっかりと受け止め、的確な対応を求めます。

### 用語解説

- \*1 パルスオキシメーター
- \*2 抗体カクテル療法
- \*3 キッズゾーン
- \*4 キッズガード
- \*5 バイオマス

指先に装着することで、重症化の目安となる血中酸素飽和度の測定が可能な機器。数値の低下により肺炎となる可能性を見つけることができる。新型コロナウイルス感染症の軽症・中等症患者向けの治療法。人工的に作った2種類の抗体を混ぜ合わせた医薬品の投与により、重症化リスクを低減する効果がある。保育所等が行う散歩等の園外活動における交通安全確保のため、その周辺に設定する道路区域。路面にキッズゾーンと標示するなど、車両運転者への注意喚起を促す。保育所等が行う散歩等の園外活動において、園児に同行し見守りをする保育支援者。木材や草木、排泄物、資源作物、食品廃棄物、下水汚泥などの総称。これらは燃やしても大気中のCO<sub>2</sub>を増加させないカーボンニュートラルな資源と言われている。

### 会派等

- 議員定数50人(令和3年10月25日現在)
- ◆自由民主党千葉市議会議員団12人
- ◆公明党千葉市議会議員団8人
- ◆日本共産党千葉市議会議員団6人
- ◆無所属3人
- ◆未来立憲民主ちば11人
- ◆千葉市議会自由民主党・無所属の会7人
- ◆市民ネットワーク3人

## 千葉市議会自由民主党・無所属の会

櫻井 崇

議会中継(録画放映)

### 中国による人権問題や北朝鮮による拉致問題について

**問** 本市は、基本理念で「人間の尊重」をうたっているが、中国によるウイグル人等少数民族への弾圧、香港などの人権問題、北朝鮮による拉致問題への見解や取り組みは。

**答** 中国などの人権問題や北朝鮮による拉致問題は、重大な問題と捉えている。拉致問題は、学校教育で取り上げる等の啓発を行っている。

### 新型コロナウイルス感染後の重症化を防ぐため、抗体カクテル療法<sup>\*2</sup>の提供体制拡充を

**問** 抗体カクテル療法を実施できる施設を数多く整備すべきと考えるが、見解は。

**答** 市内医療機関12か所ですでに実施体制を整備しており、医療機関以外では、安全性や医療従事者の確保に課題がある。市内医療機関にて宿泊療養施設入所者に対し、実施した事例があり、今後は、医療機関と施設等との連携を検討していく。



## 公明党千葉市議会議員団

伊藤 康平

議会中継(録画放映)

### 保育所等の園外活動の安全確保に向けたキッズゾーン<sup>\*3</sup>の整備とキッズガード<sup>\*4</sup>の配置について

**問** これまでもキッズゾーンの整備を要望してきたが、これからのキッズゾーン整備とキッズガード配置の検討状況について伺う。

**答** キッズゾーンは、JR稲毛駅周辺をモデルケースとして、来年度からの整備に向けて取り組んでいる。児童の一層の安全確保と保育士の負担軽減のため、キッズガードの配置も検討する。

### さらなる温室効果ガス削減に向けた生ごみなどのバイオマス<sup>\*5</sup>燃料の活用について

**問** 下水汚泥を活用したバイオマス発電などを行っている下水処理場において、生ごみなどの活用も推進すべきだが見解は。

**答** 生ごみ収集体制の効率性や、混入物の除去施設が必要になるなどの課題があるが、生ごみなどの地域バイオマスの活用も必要と認識しており、これらの課題について分析を進める。



南部浄化センターの下水汚泥を活用した消化ガス発電設備

## 日本共産党千葉市議会議員団

盛田 眞弓

議会中継(録画放映)

### 新型コロナウイルス感染対策としての医療・療養施設の緊急整備について

**問** 酸素吸入や抗体カクテル療法<sup>\*2</sup>を提供する施設整備と宿泊療養施設確保の取り組みは。

**答** 9月に宿泊療養施設へ酸素ステーションを設置した。今後は、入所者への抗体カクテル療法について医療機関との連携を検討する。また、施設を増設するため、補正予算案を提出した。

### インターネットを使用できない方に対するハザードマップの情報提供について

**問** 紙での提供と、身近な小学校区単位でマップを示すことについての見解は。

**答** インターネットを使えない方への提供に向け、9月中に市・区役所に印刷機器を追加導入し、紙で提供する体制を整える。また、印刷範囲を調整し、小学校区単位での提供も可能である。



出典:千葉市地震・風水害ハザードマップ(WEB版)

指摘要望事項

